

## V A B E L の 詩

【 詩 編 / 第 4 1 節～第 7 0 節 】

---

---

第 4 1 節 / 魚から生まれた長髪の青年はトゥールネーで フランクの王を宣言し  
スイスのシアンで創られた 金貨には長さの同じ十字架が刻印される。

第 4 2 節 / 太陽の光を集めて ダイヤモンドを燃やした天才は  
煙の出ない火薬を発明し 悪の天才レイランは、  
タール夫人とベッドの中で 悪巧みを語り合う。

第 4 3 節 / プレゲの家の怪人の名前は、テランとデスタン  
笑い声はザールの城に通じる地下の川にこだまし  
夫は密かに兵器を創り 妻はオペラ座を支配する。

第 4 4 節 / 豆と麦を積んだ船はマドリードから船出する  
ジュールとルネはアルフレットに助けてもらい 作ったコーンスープは  
息子のミッシェルに頼んでジュネーブに届けてもらう。

第 4 5 節 / カリブの海賊の幽霊船は、パナマの旗を靡かせて 七つの海を渡り  
地中海の仲間たちと アンティルの宝島に金塊を隠す。

第 4 6 節 / ペレスヴァルは 寡婦の息子で漁夫王の孫 城の中で二人の親方と、  
年の同じような三十三人の僕から、  
“アリマタヤのヨセフは母の叔父だ” と告げられる。

第 4 7 節 / フリギアの帽子かぶった インゴルシュタットのアダムは  
バヴァリアのサークルの父となり 自由と平等と書かれた神秘の種は  
光る円のなかで マルクスの父となる

第 4 8 節 / ビッグ・ベンは時を刻む 月曜日の ロンドンで日が昇り  
土曜日の ニュー・アムステルダムで日が沈む  
日曜の朝には 戦争の始まりと終わりは無い。

第 4 9 節 / 第三の男は、ウィーンの双頭の鷲 右はクルト 左はワルト

ひとつの胸元には、“S” の文字が2つ並ぶ。

第50節／ フレッドの店で 貧しいアメリカ人が10セントの買い物をすると  
グルジアの王女の娘の リッツ・ホテルのパーティーで  
銀で作った ツリーは きらきらと光りだす。

第51節／ アルベルティーの生んだポリフェルスは、ロレンツォの恋を物語り  
プラトンの考えは四つの言語で現され  
ノストラダムスの諸世紀は、森の兄弟が署名する。

第52節／ サドルディンは、ペルシャを追われてインドに渡り  
孫はインドとパキスタンを二つに割った  
息子がニーナに贈った 2匹の豹は空の上で消え  
10回目の春に サミュエルの元に返ってくる。

第53節／ アントワネットの首から逃げ出した 青いダイヤは  
ランバルの王女からラドルに渡る マクリーンはワシントンの新聞に  
薔薇の悲劇の伝説を書き ハリウッドでは船の沈んだ映画になる

第54節／ 黒い船に乗ってきた男の兄は、海軍の英雄  
兄のひ孫は日本大使 中国の油が貰えないと  
真珠の浜に 飛行機が燃え上がる。

第55節／ ドイツで生まれてイギリスに渡ったユダヤ人の煙草屋の倅は  
セシルの家のダイヤの山をマザルと言って盗み取り  
薔薇の帝国の頂きの椅子に C, O, S, の文字を描かせる。

第56節／ パルツィヴァールの息子の 白鳥の騎士は、  
ブラバンの公妃を救って結婚し、生まれた息子の孫は、  
エルサレムでロレーヌの十字架に実を結ぶ。

第57節／ 白い家は仲の良い双子の マリオネットの家  
4年に一度の兄弟げんかは、悪口を云い合うが  
夕食の油料理と戦争映画は仲良く 一緒のソファで笑いあう。

第58節／ 黒い五つの輪の元に 青いシャツを着込んだ アントニオは  
カルロスとフランコを崇拜し 右手を挙げて 宣言する。

- 第59節／ 月の王妃を産んだ フランセスは、夫を捨てて ピーターを寝取り  
ピーターの親戚のロザリンドの娘は、月の王妃の夫を盗み取る。
- 第60節／ アフリカの南の幼稚園の園長は  
8人の園児をフランケン・シュタインに創り変える  
石から黒い血を絞り取ると ダイヤモンドに薔薇の印が浮かび上がる。
- 第61節／ ダンテの秘密の半分は、九人の仲間に伝えられ  
ゲーテの秘密の半分は、手をつないだ十三人の輪の中で浮かび上がる  
それぞれの残りの半分は、戻れない三十三の階段の上で知らされる。
- 第62節／ オランダのドイツ人と結婚した男爵の家の娘が  
黒いシャツを着たイギリス人と結婚して 妖精はベルギーで産まれた  
ビヴァリーヒルズの会社の帰り道  
レブロンofルージュを塗って、ローマで休日を楽しんでいる。
- 第63節／ 金細工屋のジェームスは、ブルネリアの王子の友達  
海亀の島に幽霊と一緒に住み 休日はパリでバーゼルの友達と  
戦争映画を鑑賞し 暗い月曜日には、アランの居るロシアに逃げる。
- 第64節／ 皇帝の創った フランスの銀行で輪転機が動き始めた年  
二百の家の細胞は 生まれ変わって 二十になり  
大統領に選ばれた甥っ子は、殺したい男から袖の下を貰う
- 第65節／ ロッシーニは 次女のハンナの家庭教師 父の金貨で飾った  
娘の黄金の竖琴は、タンクレディの aria を霧の都に響かせる。
- 第66節／ アルザスで生まれた ドイツ人の博士が、平和の勲章を付け  
フランスの旗のなびく ガボンで病院を開くと  
ヴァンデの家の“石を掘る人”とドレフェスの家の“麦を刈る人”が  
仰向けになって 行列をつくる。
- 第67節／ K, P, Zの約束のもとに、スウェーデンから運んできた  
大きな火薬の山は、ヨーロッパの真ん中で 六つの大砲と手を結び  
ベージルは、ハイラムの発明を持って その中を走り回る。

第68節／ エッフェルの創った塔のある都で“獅子座の女”は  
黒いドレスを流行らせ“アルザスの女”は  
地下道で 金の仕掛けをこしらえる。

第69節／ 羊飼いの嫌いな リヒャルトの右手は、バイロイトの祭りで  
ニューベルングの指環をはめて タクトを振り上げ  
ニーチェに創らせたプロシヤの国の鷲は、鉤型の十字をつかみ揚げる。

第70節／ カルヴィがF I A Tに乗ってカルロの家に向かうと  
テムズ河の橋には、オレンジ色の紐が仕掛けられ  
アンブローゼの名の元に置かれた金庫のダイヤルは、  
Pと数字の2で止まる。

═══════════ 【 2 0 0 6 / 1 2 / 3 1 】 現 在 ════════════

A k i r a

<http://www.akira.ac>